



青少年海外派遣生 元気に帰国

去る7月26日から8月9日までの15日間、アメリカ合衆国アラバマ州を中心に派遣されていた『青少年海外派遣生』12名は、全員元気に福生市に帰ってきました。

派遣生たちは、首都ワシントンD.C.のきれいな街並み、ニューヨークの超高層ビル群、ハンツビルではNASA宇宙センターを、そして、アセンズ、アトランタと多くの都市を訪れ、日米の友情の輪を広げました。

特に、アラバマ州のアセンズ市では、ホームステイを体験し、アメリカの文化・習慣の違いを感じ、貴重なひとときを過ごしました。

これらの貴重な体験は、派遣生自身の生活や学校及び地域での活動など、さまざまな機会に生かされることでしょう。

だれもが安心して
いきいきと
暮らすために
来たるべき21世紀には、4人に1人が高齢者という本格的な高齢社会を迎えます。そのときの福生市が、すべての市民にとって、安心となくもりを感じながら、自立した生活を維持・発展できる暮らしやすい都市になつてることが大切です。

このため、市が地域福祉を推進するうえで基本的な指針を示し、その実現にむけての各種施策を総合的に推進していくた

めの計画として「福生市地域福祉計画（老人保健

福祉計画を兼ねる）」を策定しました。

この計画の策定にあたっては、昨年高齢者・障害者的生活実態調査を実施

9月15日は「敬老の日」。社会の高齢化がすむにつれ、家庭や生活意識が様々に変化している現代、誰もが安心して暮らしていく社会をつくるには、地域ぐるみで福祉の充実に取り組んでいくことが、大変重要なっています。

です。

このため、市が地域福

祉を推進するうえで基本

的な指針を示し、その実

現にむけての各種施策を

総合的に推進していくた

めの計画として「福生市

地域福祉計画（老人保健

福祉計画を兼ねる）」を策

定しました。

この計画の策定にあた

っては、昨年高齢者・障害

者的生活実態調査を実施

／みんなの手でつくろう
福祉のまち福生／

福生市地域福祉計画策定される

構成員とする「福生市地域福祉計画策定委員会」などを通じて、市民の幅広い要望、意見を取り入れてきました。

また、この計画は「福生市総合計画（輝く街福生）との整

合性を図りながら、すべての市民が健康で住み慣れたまちでい

きいきと暮らすことを中心にしています。

その内容は、援護を必要とし

ている人が在宅で暮らしていくための在宅サービスを充実し

ていくことや、多様化し増大す

る福祉ニーズに対応し、高齢者・障害者などの実態にあつた一貫

性のある福祉・保健の総合的サ

ービス拠点となる老人福祉セン

ター・高齢者住宅サービスセン

ターなどを建設すること、サーキ

ビスを提供する人材の育成と確

保を重点とするとともに、福祉

と保健医療の連携、住宅やまち

づくりなど関連施策についても

総合化していくことなどを推進

していくものです。

問合せ 福祉センター（仮称）

開設準備担当（内線321）へ。

（内線251）へ。

